

7/24(木) 菊池市特別支援教育講演会

菊池市特別支援教育連携協議会主催の講演会が、菊池市内小・中学校、保育園・幼稚園の教職員、保護者など約220人が参加し、七城公民館（講堂）で行われました。これは、平成19年度の学校教育法などの改正に伴い、特別な教育的支援を必要とする幼児、児童、生徒の自立や社会参加に向けて、各関係機関が連携協力し、適切な支援を行うために開催されたものです。

講演会では、昨年につづき岐阜市教育委員会特別支援教育指導員で、中部学院大学非常勤講師でもある加藤豊弘先生が「通常学級における学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症の支援の実践」と題して講演されました。

「特別な支援を必要とする児童などの把握。個別支援カードをもとに全教職員が共通理解し、共通支援を実践的・具体的に行う。対象児とその学級への全教職員による支援体制の構築が必要。学校・保護者・地域の連携が大切です」などの話に、参加者は終始熱心にメモを取っていました。



七城公民館（講堂）であった講演会



寄贈に訪れた岩根代表理事組合長（左）

7/25(金) 菊池森林組合が投函箱と記載台を寄贈

菊池森林組合（岩根正英代表理事組合長）から、菊池市で産出された木材で作られた「市長への手紙投函箱」と「記載台」の寄贈がありました。これは、国産木材の需要拡大、中でも菊池地域産木材の利用推進を図るため、市長への貴重な意見を書いた手紙を投函する際に、木材の良さに触れてもらうようと同組合が提案し製作したものです。

早速、市役所本庁舎正面玄関に設置されており、来庁者の皆さんが美しい木目に足を止めている姿が見られます。

寄贈、ありがとうございました。

7/27(日) 菊池市支部消防団操法大会

菊池市消防団の操法大会が総合体育館前駐車場であり、小型ポンプの部に17チームとポンプ車の部に1チームの計18チームが参加しました。

開会式では村上団長が「一刻を争う火災現場での基本となるのが操法です。連日の訓練の成果を十分に発揮してください」と訓示し、選手を代表して田中正章さん（第6分団）が選手宣誓しました。

競技は、水槽に貯められた水をポンプで吸い上げ、ホースを延ばして約60メートル先の標的を放水した水で倒すというもので、その速さと動き、号令の正確さなどで競われました。上位の結果は、次のとおりです。

小型ポンプの部

優勝 第22分団2部1班、2位 第6分団第1部、3位 本部機動隊（泗水班）

なお、8月24日（日）に阿蘇市で行われた「熊本県消防操法大会小型ポンプの部」に、第22分団2部1班が菊池市の代表として出場し第6位に、「同ポンプ車の部」に、第1分団が同じく出場し第5位と、両チームとも大健闘しました。

操法大会は、火災のいかなる状況下においても安全確実かつ迅速に任務を遂行し、技術の練磨と部隊としての連帯を体得するために毎年行われています。



総合体育館前駐車場であった操法大会



小型ポンプの部で優勝した、第22分団2部1班（北住吉）

7/19(土) 桜山たすけあいの会が熊日緑のリボン賞を受賞

泗水町の桜山地区でボランティア活動をしている桜山たすけあいの会（松本さくの代表）が、熊日緑のリボン賞を受賞しました。

同会は地域の交流を目的に、桜山地区で一人暮らしをする65歳以上の人を対象にした食事会「みんなで楽しくランチタイム」を主な活動として、長年ボランティアで行ってきました。今回はその活動が評価されたものです。

食事会は、8月を除き毎月1回行われており、メニューには旬の食材を使い、季節感を出す演出もされるなど、利用するお年寄りには好評を得ています。

松本代表は「今年は会が活動を開始して10年目で、活動にも力が入ります。今後は、これまで作ってきた10年分の料理のレシピ作りをしていきたいです」と話されました。

この賞は、長年にわたり、地域の環境美化や奉仕活動に力を入れている人たちをたたえるもので、社会を明るくする運動の一環として1959年に創設されたものです。今後の同会の益々の活躍が期待されます。



受賞の報告に訪れた桜山たすけあいの会のメンバー

7/20(日) ロアッソ熊本サッカー教室

旭志グラウンドで、ロアッソ熊本サッカー教室が開催されました。これは、旭志グラウンドの整備に伴い地域を活性化させようといわれたもので、今年からJ2リーグで活躍しているロアッソ熊本の選手7人とコーチ3人が指導者となり、子どもたちに熱心な指導をしました。

菊池市内の小学校4年生から中学校3年生までのサッカー少年127人が参加し、プロの選手と一緒にいろいろな



ゲームをしながら、楽しくサッカーを学んでいました。最後には旭志中学校サッカー部とロアッソ熊本の選手とのマッチゲームが行われ、角度のないところからのヘディングシュートなど、プロの技を目の前で見せられた子どもたちからは「すごい！」という歓声があがっていました。

プロの選手たちと一緒にゲームを楽しむ参加者たち

7/23(水) 旭志生活環境推進委員会研修

旭志生活環境推進委員会の研修が、福岡県大牟田市の大牟田リサイクル発電所とリサイクルプラザで行われました。

今回の研修では、旧菊池市・七城町・旭志村が加盟しているエコビレッジ旭（旭志麓地内）で、ゴミから作られるRDF（固形燃料）を実際に使い、リサイクル発電されるまでの工程や燃えるゴミ以外のゴミの分別・収集方法とその後のリサイクルまでの工程を学びました。

なお、生活環境推進委員の皆さんは、地域の生活環境の保全やごみの正しい出し方の指導などを日々行っています。

リサイクルプラザ内を見学する旭志生活環境推進委員の皆さん

